

<日本語訳>

2020年ペータースベルク気候対話 ビデオメッセージ

日本国環境大臣 小泉進次郎

この緊急事態の元、今私たちが集中すべきは、新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めることです。命を守ること。

私から申し上げたいメッセージは一つ。
命を守る。パリ協定を守る。そして地球を守る。

日本は、今月策定した緊急経済対策等の中でコロナ後の新たな社会を見据え、いわゆる「Green Recovery」の要素を先取りした施策も既に打ち込んだ。例えば物流 EV 化の支援や住宅の断熱性能を高める支援、日本国内で投資する企業に対する太陽光発電の導入支援である。

また、日本は先月に NDC を提出した。ここに明確にしたいのは、日本は NDC をこのままにせず、現行目標に留まらない、更なる野心的な削減努力を反映した意欲的な数値を目指すということ。まずは地球温暖化対策計画の見直しを進め、COP26 までに追加情報を提出する。

石炭政策についても、特に石炭火力の輸出政策の見直しについて関係省庁と議論を始めることで合意したのは画期的な一歩である。

新型コロナと気候変動、この世界共通の敵との戦いに打ち勝つためには、東日本大震災と原発事故という複合災害からの復興においてまさに日本がそうであったように、一人一人の行動と、国際協調が必須である。今こそ一つになって、命、パリ協定、そして地球を守ろう。

ありがとう。